

DataKeeper Standard Edition

ミラーボリューム作成手順

サイオステクノロジー株式会社

| 日付         | 版数  | 更新内容 |
|------------|-----|------|
| 2009/07/10 | 1.0 | 初版   |

## はじめに

本書は DataKeeper を使用してボリュームミラーリングを構築するための手引書です。また、この文書は情報の提供のみを目的としています。記載内容は予告無く変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

---

# 目次

|   |   |
|---|---|
| 1. 序章.....                                | 1 |
| 1.1. 本書について .....                         | 1 |
| 1.2. 表記上の約束について .....                     | 2 |
| 2. ミラーボリュームの設定 .....                      | 3 |
| 2.1. 目標環境 .....                           | 3 |
| 2.2. <b>DataKeeper</b> のユーザインタフェース起動..... | 4 |
| 2.3. サーバに接続 .....                         | 5 |
| 2.4. ジョブの作成.....                          | 6 |
| 2.5. 新しいミラーの作成 .....                      | 7 |

---

# 1. 序章

## 1.1. 本書について

本書は DataKeeper を使ってボリュームミラーリングを設定する手順を解説します。下記は準備できている前提となります。

- OS 上の設定
  - ファイアウォールの設定 (ポートの解放)
  - 「Everyone アクセス許可を匿名ユーザに適用する」を有効化
  - Distributed Link Tracking Client Service を停止し、無効化
- DataKeeper の準備
  - DataKeeper のパッケージインストール
  - DataKeeper のライセンスキーのインストール

これらに関しては下記のドキュメントをご参照ください。

<http://lk.sios.com/?p=1465>

評価版 DataKeeper for Windows インストールの手引き

<http://lk.sios.com/?p=427>

---

## 1.2.表記上の約束について

本書では数種の表記上の約束を採用しています。

- *Italic* や**太字**は強調などに使用しています。
- 文章中で【】に囲まれている語は、ユーザが入力するキーおよび GUI 上での操作を表します。

例:【Return】キーを入力してください。

- 本書で使われる用語

### ジョブ

ミラーボリュームを作る単位です。

### ソースサーバ

データが更新(書き込まれる)側のサーバです。ソースサーバとターゲットサーバでミラーボリュームを作成します。

### ターゲットサーバ

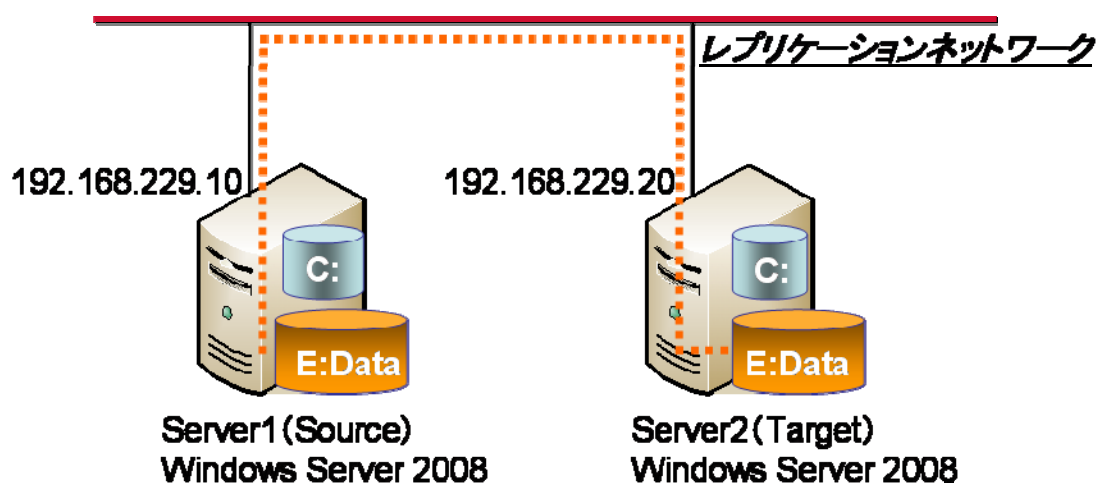
データが複製(レプリケーション)されるサーバです。

## 2. ミラーボリュームの設定

### 2.1. 目標環境

以下のような具体的な構成を元に手順を解説します。

- 2 ノード (OS は Windows Server 2008)
- 互いの E: ドライブをミラーリング
- ミラー経路として 192.168.229.0/24 のネットワークを使用



## 2.2.DataKeeper のユーザインタフェース起動

Windows のメニューから以下のように DataKeeper のユーザインタフェース(以下 UI)を起動します。

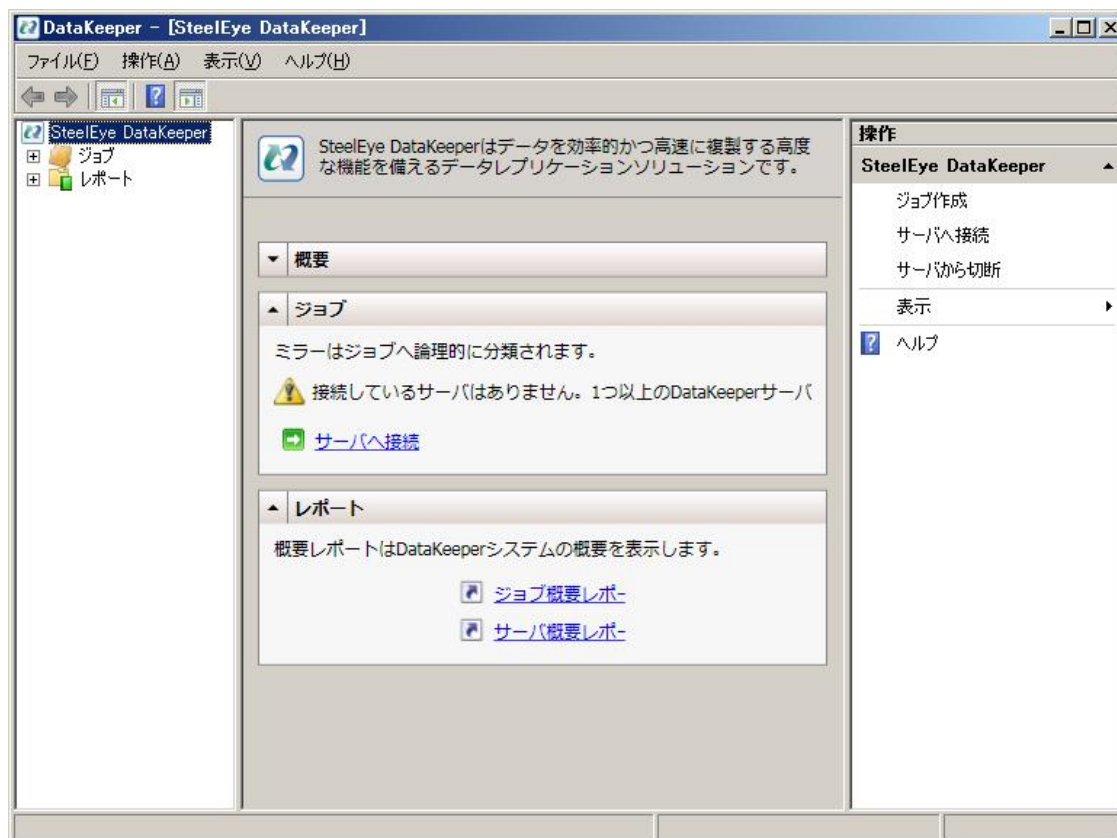
【スタート】=>【プログラム】=>【SteelEye】=>【DataKeeper】=>【DataKeeper】を起動

もしくは、デスクトップのアイコンをダブルクリックします。

### DataKeeper のアイコン



### DataKeeper の UI





## 2.3.サーバに接続

DataKeeper UI 上の【サーバへ接続】をクリックします。



上記のようなウィンドウがポップアップされますので、【サーバ】に接続したいサーバのホスト名か IP アドレスを入力し、【接続】をクリックします。



【OK】をクリックします。

## 2.4. ジョブの作成

DataKeeper UI 上の【ジョブ作成】をクリックします。



任意のジョブ名、ジョブ説明を入力して【ジョブの作成】をクリックします。  
この後、新しいミラーの作成を行います。

## 2.5.新しいミラーの作成



まずソースサーバの設定です。サーバの選択、使用するネットワークの選択、ミラーするボリュームの選択をし、【次へ】をクリックします。



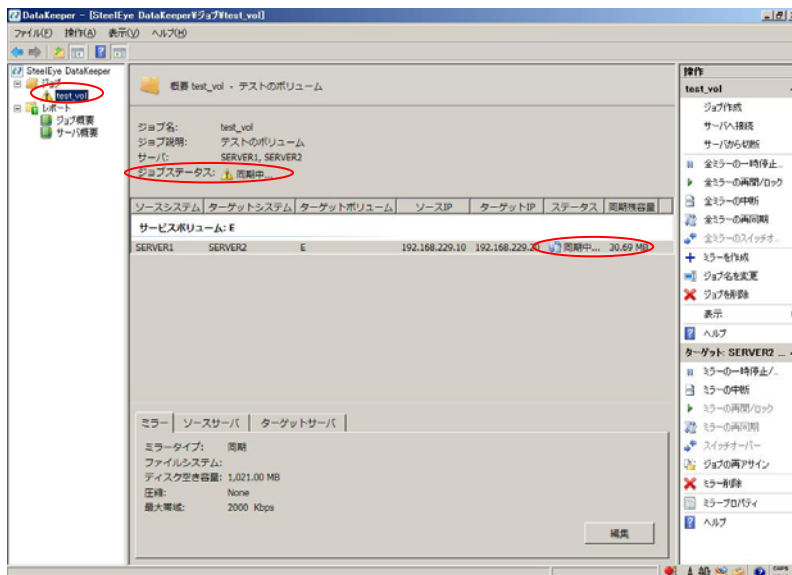
続いて、ターゲットサーバとなる側の設定です。ターゲットサーバには接続されていないため、はじめに、【サーバへ接続】をクリックし接続をします。その後はソースサーバと同様に項目を選択し、【次へ】をクリックします。



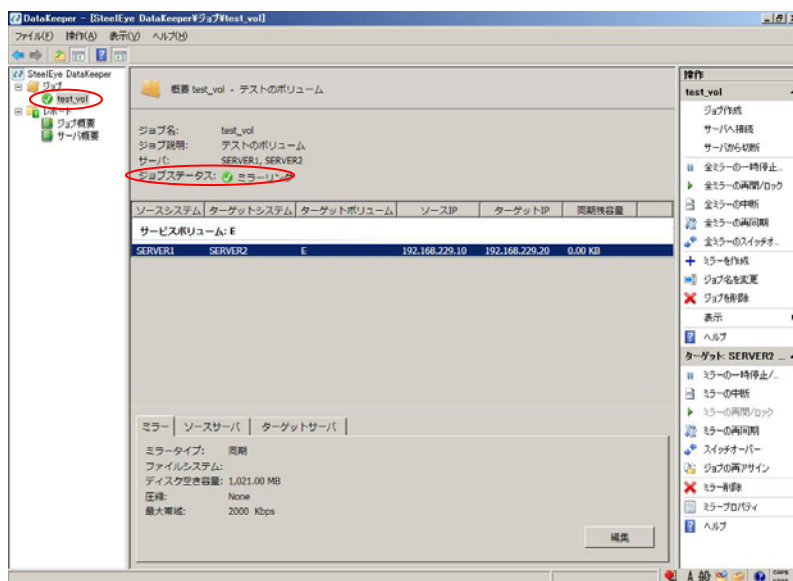
この画面では以下の3つの項目を設定します。

- データ圧縮の設定、0(圧縮なし)～9
- データ転送モード(同期・非同期)
- ミラーに使用する帯域幅の設定(0は制限なし)

この例では、圧縮なし、同期、2000Kbpsと設定して【完了】をクリックします。



初期同期が開始されます。E:ボリュームに格納されているデータがソースサーバからターゲットサーバにミラーリングされます。同期中でもソースサーバ上ではE:にアクセス可能です。



初期同期が完了すると、ステータスが**ミラーリング**に変わります。

これで DataKeeper のミラーリング設定は完了です。



SIOS

サイオステクノロジー株式会社